

意見書（案）第26号

健康保険証の存続を求める意見書

上記の意見書（案）を別紙のとおり提出する。

令和5年9月29日

三鷹市議会議長 伊藤俊明様

提出者	三鷹市議会議員	紫野あすか
賛成者	〃	野村羊子

健康保険証の存続を求める意見書

政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を6月2日に可決、成立させた。しかし、厚生労働省が発表した7,312件に上る被保険者資格情報の誤登録（2021年10月から2022年11月まで）をはじめ、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者、国民が不安を抱えている。東京保険医協会が会員に対して実施したアンケート調査（5月25日～6月5日実施、ファクス送信4,770件、回答数691件）では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関のうち66.5%が何らかのトラブルを経験しており、そのうち他人の情報がひもづけられていたケースが11件あった。別人の情報に基づいた診療、投薬は、重大な医療事故につながりかねない。

マイナ保険証とオンライン資格確認システムが保険資格確認の手段として確実なものではないため、医療機関では現行の健康保険証を持参するよう患者、国民に呼びかけているのが現状である。病気を持つ人はもちろんのこと、病気を持たなくても不慮の事故や病気に備えて、多くの人々が健康保険証を常に携帯しているが、マイナンバーカードは実印にも等しい機能を有しており、日常的に持ち歩くことは危険である。

よって、本市議会は、政府に対し、誰もが安心して医療を受けられるよう、健康保険証の廃止は中止し、存続することを強く求める。

上記、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和5年9月29日

三鷹市議会議長 伊藤俊明